

ふくい環境フェア2011

地球温暖化防止、循環型社会形成、自然環境保全と幅広い環境分野の展示・体験などを通して、県民一人ひとりが福井県の環境を守り育てることの大切さについて考え、行動する県民運動を普及するため、当協議会は、10月15日（土）に、武生パレスホテルと武生中央公園正面入口周辺で、ふくい環境フェア2011を開催しました。

今回で3回目の開催となる環境フェアは、ステージイベントと展示体験コーナーの2本立てで、展示体験コーナーでは開催地である丹南地区の環境貢献活動紹介コーナーなど、6つのコーナーを設けました。

県内企業、環境保全団体等合わせて約30社・団体の皆様に、実際の体験を通して環境について考えていただくきっかけとなるような工夫を凝らしたご出展をしていただき、盛大に行うことができました。

展示体験コーナー

エコ活動紹介コーナー

マキキユート設備や福井の自然再生運動、環境にやさしい製品や技術など、エコな活動について紹介しました。



エコな乗り物コーナー

エコな乗り物コーナーでは、電気自動車などの次世代自動車の展示の他、電気自動車や、7人乗り自転車「エコ丸くん」、「自転車タクシー」の乗車体験、「みどりの自転車」の無料レンタル、自転車の無料点検整備会が催されました。

来場者は、実際に乗車して電気自動車の静かさを実感したり、「こんな自転車見たことないよ」と、珍しい自転車の乗車体験を楽しんでいました。



リサイクル活動紹介コーナー

おもちゃの病院では、ラジコンカーやピアノなどの修理を行いました。また、古本市では、絵本や書籍などを販売し、来場者にリサイクルを実践していただきました。



エコ工作・体験コーナー

エコ工作・体験コーナーでは、自転車を使いだり、手で一生懸命回すなど、自分の体を使った発電体験、いろいろな水の性質測定、県産材を使ったマグネットづくりや新聞紙を用いたエコバッグ教室などを行いました。

オリジナルのエコバッグなど、子供たちが自分で作った作品を大切に持って帰る姿が見られ、ものを大切に使うという意識も持っていただけでした。



食のコーナー

食のコーナーでは、ふくいのおいしい水や県産牛乳の試飲、イノシシの肉で作ったコロッケやシカ肉カツあげなどのジビエ（獣肉）料理の試食が行われ、準備した飲食物はあつという間になくなりました。福井の豊かな自

然に育まれた水や食べ物のおいしさを改めて実感していただけたのではないのでしょうか。



丹南地区の環境活動紹介コーナー

開催地である丹南地区で環境活動に取り組んでいる団体などが、パネル展示や、河原の石やどんぐりを使ったオリジナルの作品づくりなどの体験を通して、活動の紹介を行いました。



ステージイベント

武生パレスホテルで、環境保全活動に積極的に取り組んでいる個人・団体・企業・団体や、熱心に節電に取り組んだ家庭の表彰、3R推進事例発表会を行いました。

3R推進事例発表会

3Rとは、ごみのリデュース（削減）・リユース（再利用）・リサイクル（再生利用）を指します。

限りある資源を大切に利用し、環境への負荷を軽減するためには、大量生産・大量消費・大量廃棄の現代社会から「良いもの」を大切に長く使う社会」に変えていく必要があります。

そのためには、県民一人ひとりが「もの」を大切に使う」という意識を持って、「ごみは出さない」「使えるものは繰り返し使う」「使えなくなったものは再び資源として利用する」という3Rを実践していただく必要があります。

① NPOエコネットふくい事務局長

中野佐知子氏

環境省の環境カウンセラー、3R推進マイスターとしても活躍されている中野氏は、「容器包装ごみを減らそう 3Rで」と題して、ごみの中でも大きなウエイトを占める、容器包装廃棄物の減量に関する取組みを発表されました。

買い物の際に少し気をつけるだけで、ごみを減らすことができます。今回は、誰でも簡単にできる容器包装廃棄物削減の取組みとして、ごみ発生が少ない簡易包装の商品を購入すること、詰め替え可能な商品を購入すること、マイバッグ・ふろしきを持ち歩いて、レジ袋をもらわないようにすること等が紹介されました。

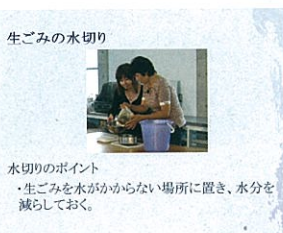


② 鯖江市連合婦人会幹事

中村靖子氏

鯖江市連合婦人会の中心メンバーとして、環境問題に長く取り組まれてきた中村氏は、これまでの活動を通して、「家庭でできるごみ減量」と題し、様々なごみ減量のアイデアを紹介されました。

燃えるごみの中に混入している雑がみは、リサイクル可能な紙資源であり、これを紙袋に入れて資源ごみとして出すことや、お菓子などに入っている乾燥材を下駄箱に入れて湿気取りとして再利用すること、生ごみの水切りポイント、着なくなった衣類を再利用したりリフォームファッションなど、アイデア次第で楽しく取り組める3Rの事例が発表されました。



生ごみの水切り

水切りのポイント
・生ごみを水がつかない場所に置き、水分を減らしておく。

あいにくの天候でしたが、1000人を超える多くの方に来場いただきました。ご参加いただいた皆様が、身近な場所でも、福井の環境を守り育てるための活動を行っていただくことを期待しています。